

みつくら

令和 3年12月15日 第352号
 発行 大瀬川活性化会議
 編集 「みつくら」編集委員会
 花巻市石鳥谷町大瀬川10-45-2
 大瀬川振興センター 電話45-6472

“お～い!集まろう!創ろう!みんなの大瀬川!”

鳥居の補強工事を行う

数年前から9区にある天満宮の鳥居の柱が腐っており、倒壊が危ぶまれていた。今年天満宮御神木の伐採や山祇神社社務所屋根葺き替えに多くの支出があり、修復は次年度と思っていたところ、畠山孝二（山祇神社総代会計）さんより、「新設は無理なのでせめて補強工事を行っては」と総代会に提案が出され、10月14日に材料費のみ5万5千円の出費で材料加工は畠山孝二さんが行い、設置の際は畠山正（山祇神社相談役）さんと2人で柱部分を鋼材で挟み込み、揺れ止めにワイヤーを張って塗装を行い補強が完成した。畠山孝二さんは「あくまで応急処置なので、今後建て替えの検討をお願いしたい」と話していた。

因みに、この鳥居は平成15年に畠山英一氏（別当）・菅原作治氏（責任役員）熊谷安久氏（副総代長）・菅原豊勝氏（総代）・高橋久雄氏（総代）・高橋スミ子氏（総代）・朴木田氏（篤志奉納）・菅原英栄氏（篤志奉納）・熊谷長悦氏（篤志奉納・木材御用達）・菅原正義氏（篤志奉納・大工匠）・菅原國雄氏（鉄板工匠）で29万1千円の寄付により改修した記録が神殿内に残されている。

2回目の図面確認が開催される

大瀬川地区基盤整備事業推進委員会（菅原教雄委員長）では、コロナ禍で開催を延期していた2回目となる基盤整備区画図面確認を10月19日から21日にかけて、夜7時から各自治公民館と大瀬川振興センターで開催し、延べ107名が参加した。この3日間では、多くの方々が閲覧できるように図面を3部作り、山王海土地改良区職員にも出席して頂いて、図面を見ながら質問し要望を付箋に書き入れた。

また、11月12日には参加できなかった方々を対象に大瀬川振興センターで図面確認を行い18名が参加した。その後、1枚の図面に要望を集合させ、山王海土地改良区や盛岡広域振興局農村整備室に提出して次回の図面確認に反映する予定となっている。山王海土地改良区では、次回の図面確認は来年の夏頃に行いたいと話している。

7区の花壇片付けを行う

去る、11月7日に第7区自治公民館（畠山勝則館長）の花壇片付けを当番である2班の方々と役員15名で行った。来年も綺麗な花壇を思いながら道路際の花と道路下側を片付けた。皆さん御苦労さまでした。

1部屯所の壁面を塗装奉仕する

花巻市消防団第13分団第1部屯所の側壁を、11月7日に団員達が危ない所には仮設足場を組んで塗装を行った。奉仕したのは熊谷和紀さん、板垣雄一さん、藤原誠さん、熊谷信人さん、板垣生栄さん、柳原紘樹さんの6人。話を聞いたので早速見に行ったところ、何と素人とは思えないほど上手に仕上がっていた。特にシャッターに書かれている「花巻市消防団第13分団第1部」の文字を汚さずに綺麗に塗っていたので、びっくりして「たまげた。シャッターの文字も汚さず、たいしたものだ」と熊谷和紀さんに聞くと「いやいや、あれは上げ下げに支障があったので去年に花巻市の予算で屋根の塗装と一緒に新しく交換したものです」とのこと。塗料代は、第1部で積み立てた予算を利用し、明るい黄色に塗装して壁は新しいシャッターに負けないくらい綺麗になった。

日頃から、消防団員は火災防止の啓発活動や大雨、土砂災害警報発令時の見廻りなど昼夜を問わず活動しており、真に頭が下がることである。

第一老人クラブが会員研修会を開催

大瀬川第一老人クラブ（熊谷善志会長）では、毎年行なっていた夏の研修旅行や秋の収穫感謝祭をコロナ禍で実施できずにいたが、このところ県内のコロナ感染者が減少したため11月25日、今回は湯治も兼ねた研修会を金矢温泉へ日帰りで17名が参加して行なった。

研修会には、菅原浩孝石鳥谷総合支所長を講師に「道の駅・石鳥谷の改装計画について」と題しお話しを伺った。配布された資料を交えながら、「この『道の駅・石鳥谷』は本県第1号として開設されて約30年が経過し、建物や駐車場の老朽化・施設間の接続と回遊性などの問題解消に向けて改装工事を進めており、令和5年7月頃を目途に、国・県・市が一大事業として取り組んでいる」とのことであった。

研修後は、入浴し懇親会となったが、密はダメ!!と返盃は御法度。それでも久しぶりにリフレッシュすることができた。

大瀬川中央長寿会（菅原得之会長）も金矢温泉で11月12日に19名が参加して芋の子会を行なっている。

下大瀬川美土里の会で中間監査

去る11月20日 下大瀬川美土里の会（高橋義晃会長）では、農地維持活動部分の堰払いと草刈り作業分の日当を69名に180万1千円を支払った。その後の役員会では、中間監査と共同活動の1路線の補修と、長寿命化活動の2路線について積雪前の工事終了を決定した。

一年ぶりとなった研修会

石鳥谷第9区農家組合（藤原芳男組合長）は、コロナ禍により昨年は総会を含めた会合事業が全く行えなかったが、最近県内でコロナ感染者が1ヶ月以上なく、感染対策をしての会合ができる体制となったため、去る11月14日第9区自治公民館で35名の参加で研修会を開催した。

当日は、現在進行中となっている大瀬川地区基盤整備事業の中での「大瀬川地区営農ビジョン概要」を同推進委員会の熊谷俊彦（幹事）さんが講師となって話された。熊谷さんから、「この営農ビジョン概要は、農業を取り巻く環境が急激に変化している中で当地域の農業と農村を将来にわたって存続できるように将来のありたい姿や目指す姿を明らかにしてその実現に向け何をするかをまとめたもので、とりわけ、事業費の受益者負担金（10%）を極力少なくするため、集約と集積が大変重要である」と話された。

続いて、「農業法人の設立から現状」について、となりの富沢地区から「農事法人とみさわ」の桐田義雄（総務担当理事）さんから、「耕作管理者や農業経営のひっ迫感から平成26年に法人を設立したが、早く基盤整備事業が行われ省力化や自動化を進めなければ後継者と経営が安定しない」とお話しがあった。

この後には、12月4日に7区農家組合（菅原孝三組合長）が7区自治公民館で、菅原教雄基盤整備事業推進委員長を講師に「営農ビジョン概要」の説明会を行っている。また、8区農家組合（板垣公組合長）でも12月19日に大瀬川振興センターで同説明会の開催が予定されている。

久しぶりのふれあいサロン

9区たんぼぼの会（熊谷幸子会長）では、11月17日に16名が9区自治公民館に集まり、久々にふれあいサロンを楽しんだ。コロナ禍や農作業などでなかなか機会が無く、久しぶりに顔を合せて色々な話しに花が咲き、熊谷会長のリードで、童謡や懐かしい歌を皆で楽しく歌った。

今回は公民館での飲食はまだ出来ないため、帰りにお弁当を頂いて「次回は来月にクリスマス会を予定しているため、参加してください」の声掛けを聞きながら帰途についた。

書作展に大瀬川から2人が出展

石鳥谷書道会の書作展が12月19日まで石鳥谷図書館で開かれ、大瀬川から2人が出展している。

熊谷静香さんは、大きな掛け軸に揮毫（きごう）した「臨書・蜀素帖（そくそじょう）」と、掛け軸の唇に「澗刺颯爽（はつらつささう）」の2作品。熊谷美奈子さんは掛け軸の唇に「我逢人（がほうじん）」。

「蜀素帖」は120字の漢文を揮毫したもので、今から千年前に中国の北宋時代の書家米芾（べいふつ）が書いた行書の作品で、原本は台北の故宮博物院に現蔵されているという大作であった。

みつくら

令和 3年12月15日 第352号
 発行 大瀬川活性化会議
 編集 「みつくら」編集委員会
 花巻市石鳥谷町大瀬川10-45-2
 大瀬川振興センター 電話45-6472

“お〜い!集まろう!創ろう!みんなの大瀬川!”

菅原さんがのど自慢大会に出場

NHKののど自慢大会が11月21日に矢巾町の田園ホールで行われ、菅原智子（南田家）さんが出場した。当日の司会は、小田切千アナウンサーでゲストは八代亜紀と千昌夫であった。菅原さんは18組の内6番目に「雨の慕情」を振り付けをしながら歌い鐘二つ。歌い終えた後にゲストの八代亜紀から選曲した理由を尋ねられ「サークルで雨の慕情を歌ったら、先生から八代亜紀さんになったつもりで歌いなさいと教えられました」とのこと。

この「のど自慢大会」には、県内外から千人以上が応募し、書類審査を通った180組が大会前日の予選会に臨み、そこでさらに18組の出場者が選考されたもの。予選会では180人をさばくため、出だしを少し歌っただけで「はいっ、次」。菅原さんは応募用紙のコメント欄に「八代亜紀さんの歌が好きで、手真似をしながら歌っています」と書いたのが選考委員の目に留まったのかも知れません。

大瀬川からのど自慢に出場したのは、平成18年に板垣聡美さん以来15年振り。確認前ではあるが、それ以前の出場者は昭和44年6月に花巻市民体育館で板垣匡俊さん、黒沢尻町時代（昭和29年以前）に畠山弥一さんが黒沢尻で出場したという。他にのど自慢ではなかったが、昭和32年に盛岡の県公会堂で行われたコロムビア歌謡コンクールに畠山絹雄さんが出場して青木光一の「小島通いの郵便船」を歌っている。その時応援に一緒に行ったのは熊谷律夫さんと菅原俊男（留屋敷家）さんであった。

9区が当番となった落葉拾い

雨の日が続き1週間延期された大瀬川運動公園の環境整備が11月21日に9区の当番で44名が参加して行われた。当朝は好天で、清掃日を感じたのか2・3日前に銀杏の葉が落葉し、公園いっぱいの落葉を熊手や竹箒を使って集め、軽トラックで6台分夏にも利用している集積所に運んだ。参加者が多かったため40分ほどで終了し、葛丸の農村環境を守る会よりお茶が提供され解散となった。

岩手大学が大瀬川でセミナー

岩手大学教育学部田中成行准教授のゼミ（学生10名）が11月23日に大瀬川振興センターで開催された。当日は、来春卒業予定の4年生10人が教授と共に大瀬川のやまなしを見学したもの。

学生達は、来春から教壇に立つ予定で小学校の教科書に宮澤賢治の「やまなし」が載っている事から、教育実践の一環としてやまなしを学んでいた。一行は電車で石鳥谷駅に降りた後に金鑄神社のやまなしを見学し教授から説明を受け、次に甘木家のやまなしを見学し、振興センターでゼミを行った。

いずれの案内は板垣寛さんで訪れた学生達は初めて見たやまなしについて感想を述べ、落果したやまなしの実を持ち帰った。田中先生は「教育現場でも、実際の経験や実践がいかに大切かが分かって欲しい」と話していた。

消防団第1部後援会の事業を報告

花巻市消防団第13分団第1部後援会は令和2年度の事業報告をこの程会員に配付した。内訳は、会館の貸し出しが40回で8千円の収入があり、例年は129戸の会員から千円の会費を集金していたが、令和2年度はコロナ禍でもあり、会費は戴かないで繰越金と会館使用料のみで運営した。支出は管理費など合わせて1万8千円弱であったが、不足分は繰越金を充てたとの報告書であった。

因みに現在の役員は、会長 板垣幸寿さん、副会長 菅原昭悦さんと熊谷武忠さん、理事は菅原昇さん、板垣匡俊さん、熊谷静治さん、辻村通義さん、畠山英男さん、熊谷利昭さん、熊谷修治さん、藤原芳男さん、高橋仁吉さん、高橋雅徳さん、監事は藤原邦雄さんと熊谷恭一さんが担っている。

ふれあいサロンで高齢者交通安全教室

ボランティアグループあじさいの会（板垣福子会長）は11月24日に花巻市交通専任指導員2名と交通指導員4名による出張交通安全教室のふれあいサロンを34名が参加して大瀬川振興センターで開いた。

最初に、派手な衣装の4名の演者が寸劇で道路の横断方法を面白可笑しく再現して「この期間（秋冬）は暗い時間帯を歩く機会が増えるので、明るい服装と反射材を付けて、車から早く発見してもらうことが大切だ。」と指導があり、参加者は夜間の横断のみならず道路の通行に気をつけようと再認識した。

また、会場後ろには俊敏性を測定する機器が2台設置され、1台は光るボタンを手で押す「クイックアーム」、もう1台はアクセルとブレーキの踏み間違いをテストする「クイックステップ」で、参加者は測定前に実年齢を入力し、測定後に印刷された記録紙の年齢と実年齢を見比べ一喜一憂していた。

最後に、「この交通安全教室は交通指導員の方々が日夜練習しており、平日の昼ならば市内なら何処でもお伺いするので、花巻市役所内の市民総合相談センターの小原まで連絡下さい」とのことだった。

訃報

向田家の熊谷トミさんは、11月19日に92歳で亡くなりました。熊谷さんは田屋竈家のお生まれで、熊谷藤五郎さんは兄さんですが、その兄さんも今年の1月に亡くなりましたので今頃は兄妹でお会いしてるかも知れません。

熊谷さんは、昭和24年に結婚してからも実家で家族一緒に暮らしていましたが、昭和35年に田屋竈家から隣地に分家して向田家を築き上げました。ご主人の熊谷定人さんは、昭和27年から酒屋働き（八戸酒類）のために冬期間は女手一人で子供達を育てられました。熊谷敬子（越田家）さんや菅原ハルノ（重之助竈家）さん、藤原スズエ（柳田家）さんとはお友達で、どちらもお話し好きとあって話が弾んだものでした。板垣江利子さんは「隣のお婆ちゃんには子供達を褒めるのがとても上手で、私も嬉しく思ったものでした。褒めて育てるなんてなかなか出来ませんよね」と話していました。

名杜氏のご主人が春遅くまでの留守中には、一人で田畑で働かれ、家業を築き上げられました熊谷さんに謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

令和3年度敬老事業が終了する

令和3年度の敬老事業は12月9日の記念写真の配布で終了した。7月2日に第1回実行員会を開催したが、この時は新型コロナ感染の第5波の最中で、委員からは昨年同様に記念品を配布して、希望者は記念写真をとる方法が良いのではないかとの意見が出され、事務局に一任した。

今年の対象者は156名で、節目の白寿の方は1名、米寿の方は7名、喜寿の方は3名であった。記念品は事務局が選定し、昨年を対象者に配布したお薬手帳と同じ生地で作った巾着袋を選んだ。8月末には記念品が届き民生委員を介して9月1日から配布。7区と8区1班と2班は板垣公さんが担当し、8区3班と4班と9区は高橋厚子さんが担当した。

記念品に添えて大瀬川敬老のしおりと交通安全の啓発チラシも配布され、しおりには、熊谷秀夫実行委員長と上田東一花巻市長のお祝いのメッセージと共に、対象者の名簿、小学生が書いたおじいさん・おばあさんへのお祝いメッセージ9名分が力強い字で掲載されていた。

記念写真撮影会は感染状況が落ち着いた10月20日に大瀬川振興センターで行われ、5名が出席した。社協による個人写真撮影の後ステージで集合写真を撮影し、記念品贈呈セレモニーが行われて熊谷委員長がお祝いを述べた。その後出席者はフラワー・アレンジメントを手を帰路についた。

なお、アレンジメントは節目の11名全員に渡している。

表彰（敬称略）

花巻市社会福祉協議会長表彰
 熊谷 弘子 （社会福祉功労・民生委員児童委員）
 畠山 義弘 （社会福祉功労・民生委員児童委員）